



平成 20 年 1 月 28 日

各 位

会 社 名 東洋シャッター株式会社  
 代表者名 取締役社長 藤田 和育  
 (コード番号 5936東・大第 1 部)  
 問合せ先 常務執行役員企画管理本部副本部長 丸山 明雄  
 (TEL. 06-4705-2125)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 14 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正

(1)平成 20 年 3 月期業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	22,000	1,250	1,150	2,990
今 回 修 正 予 想 (B)	22,000	735	610	2,450
増 減 額 (B-A)	0	△515	△540	△540
増 減 率 (%)	0.0	△41.2	△47.0	△18.1
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	21,250	964	803	742

(2)平成 20 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	22,000	1,250	1,150	2,990
今 回 修 正 予 想 (B)	22,000	735	610	2,450
増 減 額 (B-A)	0	△515	△540	△540
増 減 率 (%)	0.0	△41.2	△47.0	△18.1
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	21,250	966	805	744

(3)修正の理由

売上につきましては従来の大型物件の受注残高を消化することによりほぼ計画を達成する見込みですが、改正建築基準法が 6 月に施行され建築確認が厳格化されたことにより、利益率の高い期中に受注し期中に完工する短納期の小型物件の受注が減少し、それともなう受注競争の激化もあり、利益面で計画を下回る見通しとなりました。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 配当予想数値の修正

基 準 日	1 株当り配当金(円)		
	中間期末	期末	年間
前回予想 (平成 19 年 5 月 14 日予想)	18.00	24.00	42.00
今回予想修正 (平成 20 年 1 月 28 日予想)	—	12.00	30.00
当 期 実 績	18.00	—	—
前期実績(平成 19 年 3 月期)	—	30.00	30.00

### (2) 修正の理由

平成 20 年 3 月期の配当につきましては、平成 19 年 5 月 14 日決算発表時の予想において、厚生年金基金代行返上にもなう代行返上益が特別利益として 1,893 百万円見込み、これはキャッシュフローを伴わない会計上の処理となりますので、自己資本の充実に当てさせていただくということで除外し、平成 18 年 4 月をスタートとする中期経営計画『レボリューション 3』2 年度計画通りの当期純利益 1,100 百万円に対する配当性向 20%である 1 株当たり年間 42 円 00 銭の配当を予定しました。(内訳：中間期末 1 株当たり 18 円 00 銭、期末 1 株当たり 24 円 00 銭)

又、中間期末においては、業績等もほぼ予定どおり推移したことから、1 株当たり 18 円 00 銭の配当を実施いたしました。

今回、業績予想の修正に伴い、当初の配当方針とは異なりますが、配当原資も確保できることから、前期実績並みの 1 株当たり年間 30 円 00 銭、期末で 1 株当たり 12 円 00 銭を予定いたします。

※上記の予想は、本資料発表日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績は、今後の様々な要因により、記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上